

製品名: JIK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12834**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	TAOK3 TAOK3; DPK; JIK; KDS; MAP3K18; Serine/threonine-protein kinase TAO3; Cutaneous T-cell
別名	lymphoma-associated antigen HD-CL-09; CTCL-associated antigen HD-CL-09; Dendritic cell-derived protein kinase; JNK/SAPK-inhibitory kinase; Jun kinase-inhi
遺伝子 ID	51347.0
SwissProt ID	Q9H2K8
免疫原	抗血清はヒト TAOK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 531-580

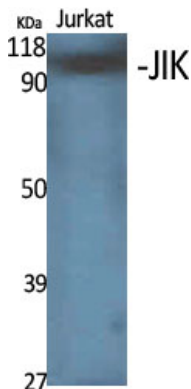
背景

触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: Jun キナーゼの基礎活性を阻害する。上皮成長因子 (EGF) によって負に制御される。過剰発現すると、ERK1/ERK2 および JNK/SAPK を活性化する可能性がある。PTM: 自己リン酸化。DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在: 末梢細胞膜にも局在する。サブユニット: 自己会合する。組織特異性: 普遍的に低レベルで発現しており、末梢血白血球 (PBL)、胸腺、脾臓、腎臓、骨格筋、心臓、肝臓で高発現している。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: Jun キナーゼの基礎活性を阻害する。上皮成長因子 (EGF) によって負に制御される。過剰発現すると、ERK1/ERK2 および JNK/SAPK を活性化する可能性がある。PTM: 自己リン酸化される。DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内位置: 末梢細胞膜にも局在する。サブユニット: 自己会合する。組織特異性: 普遍的に低レベルで発現し、末梢血白血球 (PBL)、胸腺、脾臓、腎臓、骨格筋、心臓、肝臓で高レベルで発現する。

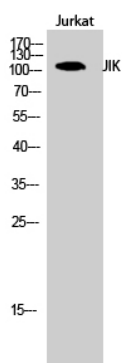
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

画像データ



JIK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



JIK ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析